

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
コード番号 7366 URL https://litalico.co.jp/
代表者（役職名）代表取締役副社長（氏名）辻 高宏
問合せ先責任者（役職名）IR部長（氏名）野地 翔（TEL）03(5704)7355
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	16,624	15.5	1,137	△15.9	1,042	△56.2	627	△66.4	627	△66.4	222	△88.3
2024年3月期中間期	14,392	26.2	1,352	7.7	2,377	93.3	1,867	165.4	1,867	165.4	1,891	168.8

	基本的1株当たり 中間利益		希薄化後1株当たり 中間利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期中間期	17	56	17	53
2024年3月期中間期	52	36	52	17

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2025年3月期中間期	33,804		10,432		10,432		30.9	
2024年3月期	25,311		10,427		10,427		41.2	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）現時点において、2025年3月期の配当予想額は未定です。資金需要動向とキャッシュ・フローの状況を勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	35,500	19.2	3,300	△11.2	1,800	△49.2	50	42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) Developmental Disability Center of Nebraska, LLC
LITALICO Corporation

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	35,711,612株	2024年3月期	35,681,112株
2025年3月期中間期	1,953株	2024年3月期	1,860株
2025年3月期中間期	35,700,226株	2024年3月期中間期	35,667,370株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	8
要約中間連結損益計算書	8
中間連結会計期間	8
要約中間連結包括利益計算書	9
中間連結会計期間	9
(3) 要約中間連結持分変動計算書	10
(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

(単位:百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	2025年3月期 中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	増減額	増減率
売上収益	14,392	16,624	+2,232	+15.5%
営業利益	1,352	1,137	△215	△15.9%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	1,867	627	△1,240	△66.4%

(単位:百万円)

セグメント別業績		2024年3月期 中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	2025年3月期 中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	増減額	増減率
就労支援 事業	売上収益	5,215	6,216	+1,001	+19.2%
	利益	1,696	2,294	+598	+35.2%
児童福祉 事業	売上収益	4,508	4,145	△363	△8.0%
	利益又は損失 (△)	533	△515	△1,048	—%
プラット フォーム事業	売上収益	1,899	2,163	+264	+13.9%
	利益	728	753	+25	+3.5%
海外事業	売上収益	—	960	+960	—%
	利益	—	234	+234	—%
その他	売上収益	2,771	3,140	+370	+13.3%
	利益	167	285	+119	+71.5%

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国約400の施設で学び、就労、生活、老後を支援するサービスを提供しています。加えて、プログラミング等一般教育分野への展開も進めています。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォームサービスを展開しています。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しています。

当社グループは、主として個人向けサービスとしてLITALICOワークス、LITALICOジュニアスタンダードコース、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの5サービスを、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォームサービスとしてLITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリアの3サービスを運営しています。

LITALICOワークスは、働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2024年4月には2.5%となりました。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっています。しかしながら、2023年における法定雇用率達成企業の割合は50.1%と約半数にとどまっており、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニアは、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達における支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOジュニアスタンダードコースでは、児童発達支援施設の運営及び放課後等デイサービスのほか小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートする保育所等訪問支援等のサービスを提供しています。

LITALICOジュニアパーソナルコースでは、特に短期集中型の手厚い指導に特化した教育プログラムを提供しています。

LITALICOワンダーは、テクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフは、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応じてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビは、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを提供し、また、オンラインで当事者家族向け相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビは、働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリアは、障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

また、主として介護施設向けに請求管理システム「ナーシングネットプラスワン」を提供するプラスワンソリューションズ株式会社、機能訓練特化型のデイサービスを運営する株式会社nCS、精神科特化の訪問看護ステーションを運営するAmu.あむ株式会社、障害のある方向けに就労支援サービスを展開する株式会社ヒューマングロー、障害児通所支援サービスを提供する株式会社unico、訪問看護ステーションを運営する株式会社VISITを連結子会社としています。さらに海外では米国ネブラスカ州において強度行動障害者向けサービスを提供するDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCを連結子会社としています。

当社グループは、就労を支援するLITALICOワークスおよび株式会社ヒューマングローを「就労支援事業」セグメント、児童福祉サービスを展開するLITALICOジュニアスタンダードコースおよび株式会社unicoを「児童福祉事業」セグメント、施設や従事者向けのインターネットプラットフォームサービスとしてLITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリア及びプラスワンソリューションズ株式会社を「プラットフォーム事業」セグメント、新たに連結子会社としたDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCを「海外事業」セグメントとし、以上4事業を報告セグメントとしています。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

<就労支援事業>

就労支援事業については、新規に開設した7施設の集客も順調に推移し、累計で150施設となりました。報酬改定のプラス効果もあり、当中間連結会計期間の売上収益は6,216百万円(前年同期比19.2%増)、セグメント利益は2,294百万円(前年同期比35.2%増)となりました。

<児童福祉事業>

児童福祉事業については、新規に16施設を開設し、累計で175施設となりました。報酬改定のマイナス効果に加え、報酬改定に対応するための支援プログラムの変更に伴い施設の稼働率と利用単価が一時的に低下したこと、さらに今後の施設開設に向けた先行費用が一時的に集中したため、当中間連結会計期間の売上収益は4,145百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は△515百万円(前年同期比1,048百万円の減少)となりました。

<プラットフォーム事業>

プラットフォーム事業は、SaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数の増加ペースを加速しつつ、人員の大幅な増強など積極的な先行投資を継続しています。また、LITALICOキャリアにおいても採用支援サービスが拡大しています。民事再生手続きを申し立てた大口契約先の解約が発生したこと等の影響があったものの、当中間連結会計期間の売上収益は2,163百万円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益は753百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

<海外事業>

新たに連結子会社としたDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCにおいて海外事業を展開するセグメントです。2024年7月より業績取り込みを開始しました。当中間期連結会計期間の売上収益は960百万円、セグメント利益は234百万円となりました。

<その他>

その他セグメントはLITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフ及びその他新規事業にて構成されています。各事業が順調に推移した結果、積極的なマーケティング投資や新規事業への投資拡大による費用増を吸収し、当中間連結会計期間の売上収益は3,140百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益は285百万円(前年同期比71.5%増)となりました。

以上の結果、売上収益は16,624百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は1,137百万円(前年同期比15.9%減)となりました。また、前年中間期においては持分法適用関連会社の株式会社Olive Unionの全株式を売却し、1,058百万円の売却益を金融収益に計上していたこと等により、親会社の所有者に帰属する中間利益につきましては、627百万円(前年同期比66.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8,493百万円増加し、33,804百万円となりました。これは主に、業容拡大による営業債権及びその他の債権の増加及びDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCの持分取得によるのれんの増加によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して8,489百万円増加し、23,372百万円となりました。これは主に、短期借入金4,596百万円の増加及びDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCの持分取得に係る条件付対価の増加によるものです。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加し、10,432百万円となりました。これは親会社の所有者に帰属する中間利益の計上に伴う利益剰余金627百万円増加している一方で在外営業活動体の換算差額504百万円の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月に連結子会社としたDevelopmental Disability Center of Nebraska, LLCの業績について2024年7月から2025年3月までの9か月分を今期連結業績に取り込むこととし、6億円の営業利益増加影響を見込みます。また、児童福祉セグメントにおける一時的な稼働率低下等による15億円の営業利益減少影響と、就労支援セグメント、プラットフォームセグメントおよびその他セグメントの直近の業績動向にもとづく3億円の営業利益減少影響についても反映し、2024年5月7日に公表しました2025年3月期連結業績予想を下記の通り修正しました。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 35,000	百万円 4,500	百万円 3,000	円 銭 84.10
今回修正予想(B)	35,500	3,300	1,800	50.42
増減額(B)-(A)	500	△1,200	△1,200	-
増減率(%)	1.4	△26.7	△40.0	-
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	29,792	3,715	3,545	99.38

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	注記	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		4,507	4,661
営業債権及びその他の債権		5,333	5,655
その他の流動資産		441	554
流動資産合計		10,281	10,870
非流動資産			
有形固定資産		2,908	3,305
使用権資産		3,053	3,596
のれん		3,858	10,562
無形資産		3,069	3,295
その他の金融資産		1,489	1,508
繰延税金資産		554	568
その他の非流動資産		98	101
非流動資産合計		15,030	22,934
資産合計		25,311	33,804

(単位:百万円)

注記	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,143	1,104
借入金	2,239	6,835
リース負債	1,430	1,663
未払法人所得税	641	533
引当金	1,199	1,283
その他の短期金融負債	-	1,299
その他の流動負債	1,129	919
流動負債合計	7,781	13,636
非流動負債		
借入金	4,669	5,342
リース負債	1,636	1,949
繰延税金負債	75	88
その他の長期金融負債	-	1,627
その他の非流動負債	722	729
非流動負債合計	7,102	9,736
負債合計	14,883	23,372
資本		
資本金	501	528
資本剰余金	527	528
利益剰余金	9,165	9,512
自己株式	△4	△4
その他の資本の構成要素	239	△132
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,427	10,432
資本合計	10,427	10,432
負債及び資本合計	25,311	33,804

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	注記	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益		14,392	16,624
売上原価		△8,989	△10,801
売上総利益		5,403	5,823
販売費及び一般管理費		△4,035	△4,712
持分法による投資損益(△は損失)		△13	-
その他の収益		17	59
その他の費用		△19	△33
営業利益		1,352	1,137
金融収益		1,058	55
金融費用		△33	△150
税引前中間利益		2,377	1,042
法人所得税費用		△510	△415
中間利益		1,867	627
中間利益の帰属			
親会社の所有者		1,867	627
中間利益		1,867	627
1株当たり中間利益			
基本的1株当たり中間利益(円)		52.36	17.56
希薄化後1株当たり中間利益(円)		52.17	17.53

要約中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

注記	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	1,867	627
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	24	99
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	-	△504
その他の包括利益合計	24	△405
中間包括利益	1,891	222
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,891	222
中間包括利益	1,891	222

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本 の構成要素		
2023年4月1日残高	464	474	5,852	△4	101	6,886	6,886
中間利益	-	-	1,867	-	-	1,867	1,867
その他の包括利益	-	-	-	-	24	24	24
中間包括利益	-	-	1,867	-	24	1,891	1,891
剰余金の配当	-	-	△232	-	-	△232	△232
新株の発行	34	34	-	-	-	68	68
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬取引	-	1	-	-	48	49	49
その他	-	△26	-	-	-	△26	△26
所有者との取引額等合計	34	9	△232	-	48	△140	△140
2023年9月30日残高	498	483	7,487	△4	172	8,637	8,637

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本 の構成要素		
2024年4月1日残高	501	527	9,165	△4	239	10,427	10,427
中間利益	-	-	627	-	-	627	627
その他の包括利益	-	-	-	-	△405	△405	△405
中間包括利益	-	-	627	-	△405	222	222
剰余金の配当	-	-	△285	-	-	△285	△285
新株の発行	28	28	-	-	-	55	55
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	5	-	△5	-	-
株式報酬取引	-	14	-	-	40	54	54
その他	-	△41	-	△0	-	△41	△41
所有者との取引額等合計	28	1	△280	△0	34	△217	△217
2024年9月30日残高	528	528	9,512	△4	△132	10,432	10,432

(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2 (注)3	要約中間 連結財務諸 表計上額
	就労支援 事業	児童福祉 事業	プラット フォーム 事業	海外事業	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	5,215	4,508	1,899	—	11,622	2,771	14,392	—	14,392
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	27	—	27	—	27	△27	—
計	5,215	4,508	1,926	—	11,648	2,771	14,419	△27	14,392
セグメント利益	1,696	533	728	—	2,957	167	3,124	△1,772	1,352
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,058
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△33
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	2,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース事業、LITALICOワンダー事業、LITALICOライフ事業等を含んでいます。

2. セグメント間の内部売上収益又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2 (注)3	要約中間 連結財務諸 表計上額
	就労支援 事業	児童福祉 事業	プラット フォーム 事業	海外事業	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	6,216	4,145	2,163	960	13,484	3,140	16,624	—	16,624
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	53	—	53	0	53	△53	—
計	6,216	4,145	2,216	960	13,537	3,141	16,677	△53	16,624
セグメント利益又 は損失(△)	2,294	△515	753	234	2,767	285	3,052	△1,915	1,137
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	55
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△150
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,042

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース事業、LITALICOワンダー事業、LITALICOライフ事業等を含んでいます。

2. セグメント間の内部売上収益又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。